

入館者数10万人達成 歴史民俗資料館

4月15日、歴史民俗資料館の入館者数が10万人を突破し、10万人達成記念セレモニーを開催しました。

10万人目の来館者の岩越健二さん(長池)には、町マスコットキャラクター「かさまるくん・かさまるちゃん」の記念グッズが贈られました。



10万人目の岩越さん(中央)

一部完成し開通式 サイクリングロード

4月17日、笠松みなと公園でサイクリングロードの開通式が行われ、開通を祝いました。

このサイクリングロードは、みなと公園から河川環境楽園までを結ぶ計画で、一部が完成したものです。町老人クラブ連合会による「伴健康づくり歩け歩け運動」も開催され、参加者は開通したばかりのサイクリングロードを歩きました。



完成したサイクリングロードのテープカットをする皆さん

戦没者のめい福を祈り

笠松町春季戦没者追悼式が4月24日、笠松・松枝・下羽栗の各地域の会場でしめやかに行われました。



戦没者をしのび献花する遺族の皆さん

春季戦没者追悼式

式には、戦没者の遺族の皆さんや関係者が多数参列され、広江町長が「戦後に生まれた世代が大半を占める今、戦没者のかけがえのない命をもって示された戦争の悲惨さと平和の尊さを深く心に刻み、未来を担う次世代にしっかりと継承し、今後さらに、人と人との絆を大切に、住みよい豊かなまちを目指していくことに全力を傾注してまいります」と式辞を述べました。

続いて県知事代理、田中県議会議員、川島町議会議長の追悼の言葉のあと、参列者が献花を行い、戦没者のめい福を祈り、平和への誓いを新たにしました。

迅速な消火活動は日ごろの訓練から

町消防団

5月11日・12日、笠松中学校運動場で町消防団が、羽島郡広域連合西消防署職員の指導のもと、分列行進などの訓練を行いました。

日中、仕事を持っている消防団員の訓練は、仕事を終えた夜間や休日に行われていますが、「わがまちを災害から守る」という使命感が仕事の疲れを吹き飛ばし、火災現場での機敏な行動、迅速な消火活動ができるように、団員らは真剣な表情で訓練に励んでいました。



規律訓練を行う消防団員